

1. 件名：原子力エネルギー協議会等との面談
2. 日時：令和6年2月8日（木）16：00～18：20
3. 場所：原子力規制庁9階会議室
4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部

原子力規制企画課

藤森企画調査官、斎藤課長補佐、佐藤専門職、
佐藤係長、田代係長

実用炉審査部門

小林主任安全審査官、深堀技術参与

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門

舟山安全技術管理官、塚本上席技術研究調査官、
金子主任技術研究調査官、
関根副主任技術研究調査官、
八木橋副主任技術研究調査官、
後藤技術研究調査官

システム安全研究部門

江口主任技術研究調査官、
柴主任技術研究調査官、
秋葉主任技術研究調査官

原子力エネルギー協議会（ATENA） 副部長

東京電力ホールディングス株式会社 原子力運営管理部 燃料管理グループ 課長
株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

炉心設計部 シニアエンジニア 他9名

・日立 GE ニュークリア・エナジー株式会社

原子力計画部 主管技師 他4名

・東芝エネルギーシステムズ株式会社 原子力安全システム設計部

エキスパート 他4名

・株式会社テプコシステムズ 原子力エンジニアリング事業部

原子力炉心技術部 マネージャー

5. 要旨：

- 原子力エネルギー協議会及び事業者（以下「事業者等」という。）から、前回の面談（令和5年11月30日）¹に引き続き、沸騰水型原子炉における将来的な10行10列燃料の導入に向けた最適評価コード及び統計的安全評価手法に係る特定の共通事項に係る技術文書の検討状況について、資料に基づき説明があった。

¹ <https://www2.nra.go.jp/data/000462509.pdf>

- 原子力規制庁は、当該説明について聞き置いた。
- 事業者等から、本件の検討状況やその検討内容の概要については、今後も継続的に説明を行っていく旨の発言があった。

6. 配布資料：

資料 3次元核熱結合動特性解析コード（TRAC 系コード）及び統計的安全評価手法について